

普及活動情勢報告（平成30年12月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

サルに負けないぞ！ ～いの町鳥獣被害対策視察研修～



サル捕獲檻の側で、餌付け方法を学んでいます

11月29日、いの町成山地区の農家・住民13名が参加し、四万十市西土佐地区の鳥獣被害対策視察研修を行いました。

この研修は、サルの被害が出ているいの町成山地区に対して、役場と農業改良普及課が連携し先進地研修を提案したものです。

参加者は、「専門家の助言を守って捕獲に取り組んだ結果、集落にサルがいなくなり農産物を収穫することができた」という話に、驚いていました。

農業改良普及課は、今後もＪＡ鳥獣被害対策専門員や役場と連携し、成山地区で出来るサル対策の検討を進めていきます。

今年産の土佐文旦の出来はどうか？ ～土佐文旦部会で果実分析を実施～



果皮の厚さを調査中

ＪＡとさし土佐文旦部会では、12月4日と5日に農業振興センターで、収穫前の果実分析を実施しました。

農業改良普及課はＪＡ等、関係機関と協力して、果実重や果径、果皮厚、糖度、酸度について調査しました。

合計370果を分析した結果、果実の大きさは平年並で、果実品質は糖度が平年よりやや低く、酸度は平年並みでした。

農業改良普及課はＪＡと連携し、分析結果を、生産者にフィードバックするとともに、光センサー選果機の調整や「てんたん」(ブランド名)候補地の選定、共同出荷場への持込順の調整等に活用していきます。

地元食材で郷土料理を広めよう！！ ～伊野地区郷土料理講習会～



どんな料理ができるかな？

伊野地区生活改善グループ連絡協議会では、12月4日いの町公民館で郷土料理講習会を開催しました。当日は12名の参加を得、特産の白芽芋を使った料理の他、4品目の実習を行いました。

農業改良普及課は役場と連携し、開催支援やショウガのＰＲを行いました。

参加者からは、「ショウガの発祥の地とは知らなかった」「今年は会場が役場近くで参加しやすかった。」などの意見が出ました。

農業改良普及課は、今後も役場と連携しショウガＰＲなど、グループ活動の支援を行っていきます。

